

平成 28 年 8 月 22 日

応用地質株式会社

報 道 関 係 各 位

**OYOフェア2016「リスクをプラスに。」10月13・14日東京秋葉原で開催
重点セミナーは「熊本地震」「自然災害の事業継続ソリューション」**

応用地質株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：成田 賢）は、10月13日（木）・14日（金）にOYOフェア2016を東京秋葉原で開催いたします。テーマを「リスクをプラスに。―災害・環境リスクへの備えが新たな価値を生む時代に向けて―」とし、防災・環境リスクに備えるために必要な調査・診断・評価・モニタリングサービスおよびソリューション技術の展示とセミナーを企画いたしました。入場無料、予約不要です。

OYOフェア 2016 10月13日(木) 10:00 - 17:00
入場無料 粗品進呈
秋葉原UDXギャラリー 10月14日(金) 10:00 - 17:00
東京都千代田区外神田4-14-1

リスクをプラスに。
―災害・環境リスクへの備えが新たな価値を生む時代に向けて―



災害国のわが国では、4月に平成28年熊本地震が発生し、改めて企業の事業活動における災害への対応力が注目されました。近年は、持続可能な社会の構築に向けた企業の社会的責任が要求され、環境問題を含む各種リスクへの積極的な取り組みがより市場から評価されるようになっております。

私たちは、お客様の事業パートナーとして、各種の事業リスクへの備えを通じて皆様の企業価値向上をご支援すると共に、当

社の持つ様々な専門知識をお客様のビジネスと融合させて、新たな市場創造を図って参りたい所存です。OYOフェア2016の詳細・最新情報については、特設サイトに掲載しておりますので、ここでは概要をお知らせいたします。<http://www.oyo.co.jp/exhibition/oyo-fair-2016/>



■技術セミナーは2編の重点セミナー（30分）と4編の一般セミナー（20分）を予定しております。

- A 熊本地震 初動対応での貢献－復興への魁－【重点セミナー】
- B OYOグループが提供する自然災害の事業継続ソリューション【重点セミナー】
- C 防災減災におけるIoTの現状と将来
- D OYOが提供するリスク診断サービス
- E 土壌汚染対策法、次の改正のゆくえは？
- F 生物を利用した水質管理手法(WET)の活用－水のリスク対策から企業価値の向上へ－

■展示内容は4つのゾーンにわけ、展示する予定です。



OYO フェア 2015 セミナーの様子

・リスクをプラスに「かえる」

災害避難タイムライン、BCP/BCM、災害報告アプリ、リスク診断ほか

・リスクをプラスに「つなぐ」

土壌汚染対策法改正、道路維持管理「穴ぼこシステム」、路面下空洞探査、大規模盛土造成地防災対策、河川堤防の維持管理ほか

・最新計測機器の展示と各種ソリューションの提案

IoT 防災機器、研究開発製品ほか

・OYOグループ各社の地盤/自然災害リスクマネジメントサービス/製品

海外における自然災害リスクの最小化、火山シミュレーション、地震後の建物安全性確認システムほか



OYO フェア 2015 展示会場の様子

当社の事業内容をご覧いただける機会となっております。事前にご連絡頂けますとご案内いたしますので、お声かけ頂ければと存じます。ご来場の際には、忌憚のないご意見やご助言を賜れば幸いです。お忙しい中恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご来場賜りますよう心よりお待ちしております。

以上

【本件に関するお問合せ先】

応用地質株式会社 社長室 川地・橋本

TEL : 03-5577-4501

E-mail : prosight@oyonet.oyo.co.jp